

平成14年度企画展

肥後の至宝展I

新発見・再発見 菊池川の古代遺跡



木柏子古墳出土
銀鏡座鏡

2003.1~3

主催／熊本県立装飾古墳館

平成14年度企画展

肥後の至宝展I

新発見・再発見 菊池川流域の古代遺跡



ご挨拶

このたび、平成14年度の後期企画展として「肥後の至宝展パート！」を開催するはこびとなりました。「新発見・再発見 菊池川の古代遺跡」と題しましたが、この地域で最近発掘調査された多くの遺物をとおして、菊池川とともに逞しく生きた古代の人々の生活の様子を知り、その夢や魂に触れることができたらと思います。

展示資料の一つを紹介させて頂きますが、菊池市教育委員会の大変なご協力を頂き、本柑子古墳から出土した銀象嵌鏡の展示ができました。刀の鍔に銀象嵌文様が見事に浮かび上がり、線区画されたなかに勾玉とも見える模様が充填されています。

これに非常に類似したものとして、球磨郡錦町才園古墳からも銀象嵌鏡が出土しています。

また、関連する資料としては、ここ菊池川流域の玉名郡菊水町江田船山古墳から出土した大刀に、75文字の銀象嵌銘があることはあまり有名です。

遠くはなれた埼玉県行田市、稲荷山古墳から出土した鉄剣には金象嵌の銘文が施されています。これらは当時の各地域の有力者だけに許された武器装飾でしょうし、きらびやかな古墳文化の一つを今日に伝えてくれる至宝です。

おりしも、昨年、鹿本郡植木町の山口横穴墓から新たな装飾文様が発見されました。装飾古墳が菊池川流域に多く存在している理由を問われることがしばしばありますが、それは恵まれた自然環境と、生産性に培われた資力に加え、いち早く新しい文化をとり入れる進取の精神が極めて強かったからだと思います。今回多くの資料を展示することができ、さらにその感を強くしております。

また今回は、県教育庁文化課の支援を得て、新幹線建設予定地内である八代地区の発掘調査速報展を同時開催することができました。各地域で育まれた生活の様子やその関わりなど、様々な視点から観覧いただければ幸いに思います。

今後も、県内各地域の多くの資料の展示をすすめていきたいと考えています。

最後になりましたが、本企画展の開催にあたりまして、展示品の御提供に御協力いただきました菊池川流域の各市町村教育委員会をはじめ、多くの関係の方々に対して、厚く御礼申しあげご挨拶といたします。

平成15年1月15日
熊本県立装飾古墳館長 古澤哲男

目次

ご挨拶	2
目次	3
凡例	3
1. 東鶴遺跡（菊池市）	4
2. 木柏子古墳（菊池市）	6
3. 瀬戸口横穴墓（七城町）	8
4. 岩原古墳群（鹿央町）	10
5. 城ヶ辻城跡（玉名市）	12
6. 尾足横穴群（旭志村）	14
7. 柳町遺跡Ⅰ（玉名市）	15
8. 柳町遺跡Ⅱ（玉名市）	18
9. 上生上ノ原遺跡（西合志町）	20
展示遺物一覧	22
主な参考・引用文献、協力者一覧	24

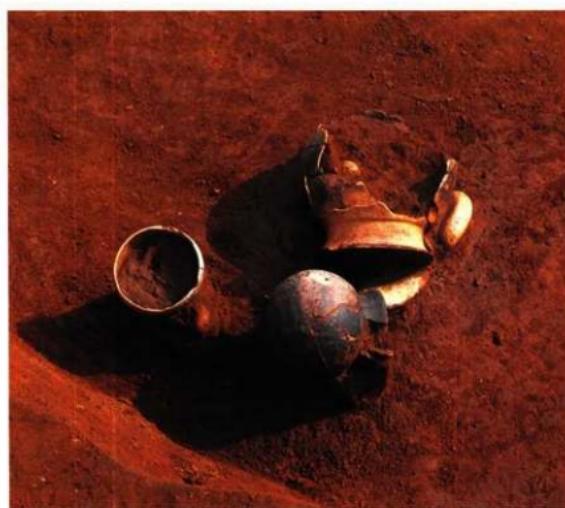
凡例

- 1 本書は、平成14年度企画展「肥後の至宝展Ⅰ」一新発見・再発見に伴う展示図録である。
- 2 本企画展では、菊池川流域（本流である菊池川周辺と、合志川などの支流域の市町村）の古墳時代から古代の遺跡を対象としている。
- 3 上記の地域・時代を対象に、今年度上半期に発掘調査を行った遺跡の中でも、特に優れた成果のあったところを新発見の遺跡として取り上げている。また、過去発掘調査を行った遺跡のなかでも、その後の調査報告、鉄器や木器などの保存処理によって、改めて公開が可能になった資料を、再発見の遺跡として取り上げた。
- 4 この他、新発見の遺跡でも特に重要な、中村双子塚古墳（山鹿市）、山口横穴墓（植木町）の2遺跡については、各々記念講演にて山口健剛氏（山鹿市博）、中原幹彦氏（植木町教委）から報告を受ける。
- 5 本書に掲載した写真資料のうち、調査時の写真は調査主体である各教育委員会から提供を受けた。遺物の撮影は、主に本館学芸課で行い、村田百合子氏の協力を得た。菊池市教育委員会所蔵資料銀象嵌鏡の撮影は、村田氏が行った。
- 6 本書の編集・校正は、学芸課長江本直の指導・助言のもと、学芸課職員が分担した。

東鶴遺跡（菊池市大字下河原）



PL.1 積穴住居群調査時の遺跡遠景



PL.2 住居内遺物出土状況

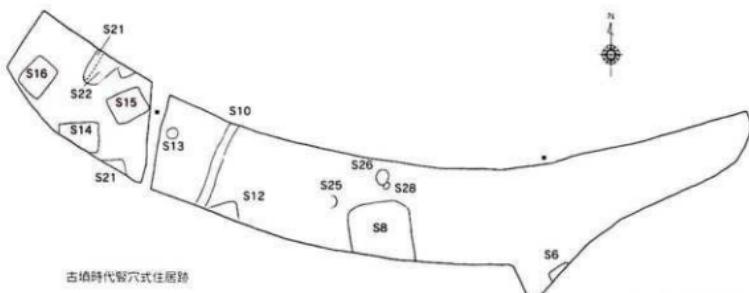


Fig. 1 造構配置図



PL. 3 住居内出土土師器

菊池川の最上流域の台地上にある。遺跡は、縄文時代から中・近世に渡っての生活跡が検出された。古墳時代の竪穴住居跡が6軒見つかっており、集落と古墳の立地関係を知るうえで注目される。

木柑子古墳【通称木柑子フタツカサン古墳】(菊池市大字木柑子)



PL.4 木柑子古墳遠景(手前白線が古墳周濠)



PL.5 周濠内調査風景



PL.6 銀象嵌鏡出土状況



PL.7 銀象嵌鍔(表)

PL.8 銀象嵌鍔(裏)



PL.9 木柑子古墳周濠内出土須恵器

木柑子古墳は、菊池川の左岸花房台地上にあり、墳長約65mの前方後円墳である。石人が4体以上出土した高塚古墳とともに、岩瀬・木柑子古墳群と呼ばれる古墳群を形成している。6世紀中頃に築造されたこの古墳の周濠からは大刀の鍔が発見されている。鍔の周縁全体に勾玉形の銀象嵌が施されている。鍔に覆われていたが、別府大学文化財学科において保存処理等が施され、象嵌を見ることができるようになった。

瀬戸口横穴墓（菊池郡七城町大字台）



PL.10 濑戸口横穴墓全景



PL.11 1号墓 奥屍床遺物出土状況



PL.12 8号墓 奥屍床遺物出土状況



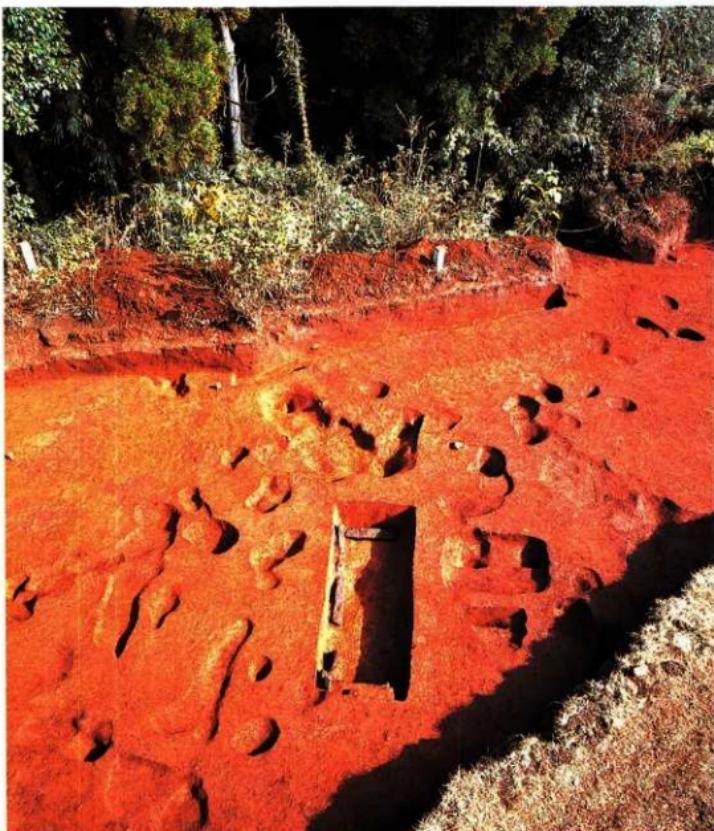
PL.13 出土装身具



PL.14 8号墓出土鉄器

総数250基以上と、県内でも最大規模を誇る横穴群。今回は、平成8年度に行われた発掘調査で発見されたものを展示する。1号・8号横穴は、出土した鉄鏃、銀メッキ・銀線製の耳環などから6世紀後半代の築造と考えられる。

岩原古墳群（鹿本郡鹿央町大字岩原）



PL.15 道跡全景 中央に箱式石棺



PL.16 土坑内須恵器出土状況

県内最大規模の前方後円墳、岩原双子塚古墳を中心とする、大小9つの円墳などからなる古墳群。今回の調査は、台地端部で行われ、箱式石棺など小規模な墓が多く掘がっていることが判明した。検出された土坑から出土した須恵器の壺は、菊水町にある江田嶺山古墳から出土した須恵器とほぼ同時期の5世紀後半と見られる。

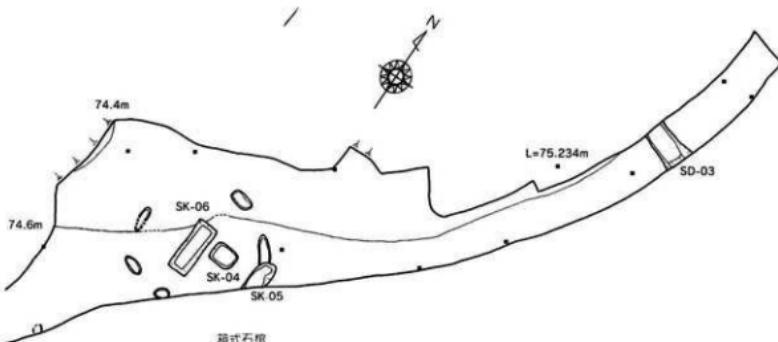
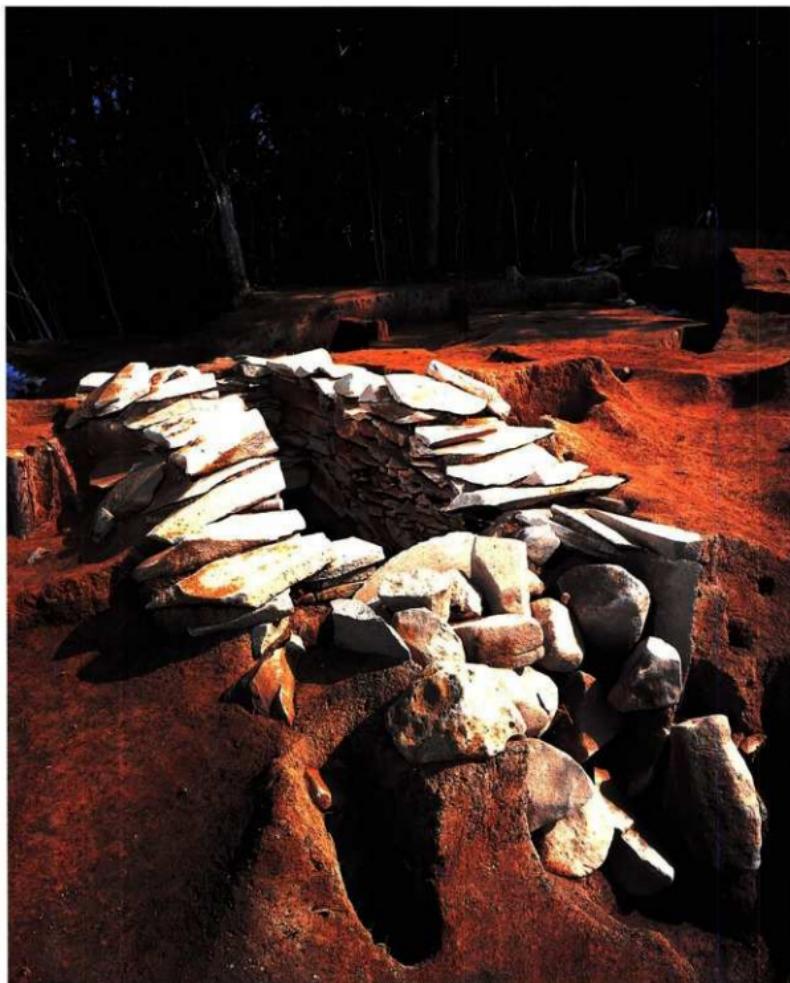


Fig.2 造構配置図



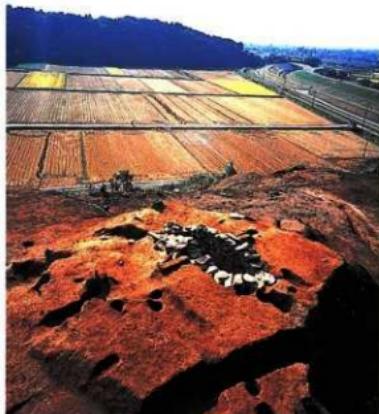
PL.17 土坑内検出須恵器壺

城ヶ辻城跡（玉名市大字寺田字城ヶ辻）



PL.18 石室検出状況

遺跡は、中世城と重複して城ヶ辻古墳群が存在している。今年度の発掘調査ではこの古墳群のうち、6・7号墳の2基で行われた。2基とも横穴式石室として築造されており、天井部は盗掘など後世の搅乱によって取り除かれていた。このうち7号墳は細かな板石を小口積みし、玄室内左側壁には赤色顔料が付着していた。



PL.19 塗丘並びに石室出土状況



PL.20 石室内から見た閉塞石横出状況



PL.21 石室内出土遺物

尾足横穴群（菊池郡旭志村大字尾足）

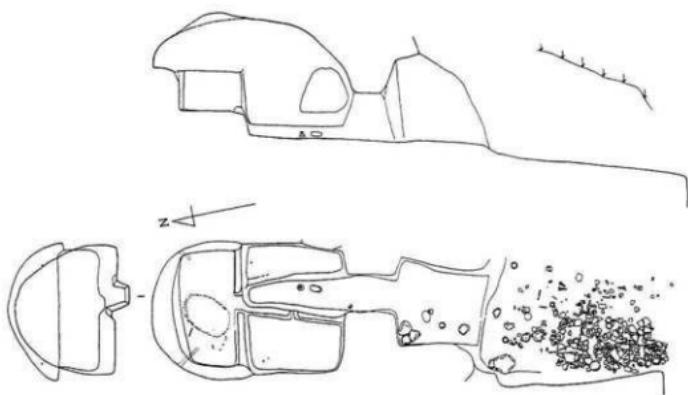


Fig.3 甲号横穴実測図



PL.22 金銅製帶金具

横穴墓内部の玄室側壁には鐵鐵が打ち込まれていた。その意味は、天幕などの吊り具として使用されたとも、刃物の電力による除魔・鎮魂の意味があるとも考えられている。



PL.23 耳環

柳町遺跡Ⅰ（玉名市大字河崎字柳町）平成6～8年度調査



PL.24 柳町遺跡より小岱山觀音岳を望む



PL.25 遺跡調査区全景



PL.26 木製紡錘車出土状況



PL.27 写真上段 木鍤6点
下段右より紡錘、
鳥形木製品



PL.28 写真右上より
脚付盤、横鋤・横鋤柄、
堅杵、一木平鋤

遺跡は、沖積地内に形成されており、遺物から農村的な集落の存在が伺える。付近は、縄文時代時代晩期から古代・中世にかけて、くりかえし遺跡が形成されている。微高地に住居跡・井戸などが検出される一方で、自然流路等から大量の木製農耕具が検出されている。水田跡などの耕作面の特定や、集落構成の解明など今後多くの検討が続けられよう。

柳町遺跡 II 平成9~11年度調査



PL.29 平成9年度調査区全景



PL.30 井戸枠出土状況

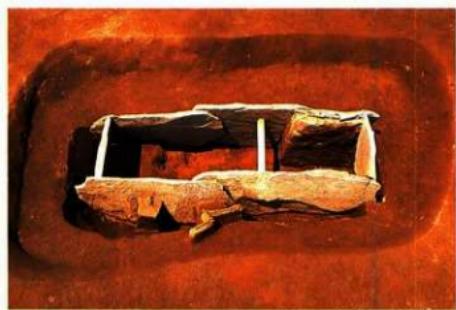


PL.31 紙車形木製品出土状況



PL.32 出土した木製品
上 糸車形木製品 右 横櫛 上中央 木製紡錘車
左 横櫛 3点 中央 方形刷物 下 駒形木製品

上生上ノ原遺跡（菊池郡西合志町大字上生）



PL.34 馬具出土の箱式石棺

PL.33 遺跡遠景



PL.35 中段 石棺蓋におかれた短甲



PL.36 下段 馬具出土状況

縄文時代早期・古墳時代の複合遺跡。古墳時代の調査では円形周溝墓が多数検出された。築造された箱式石棺の時間的な変遷がわかる。このうち、3号石棺からは馬具の一部である鉄製捻り轡(くつわ)が検出された。また4号石棺からは三角板紙留短甲が検出された。5世紀後半のものと考えられる。



PL.37 鉄製捻り帯(くつわ)

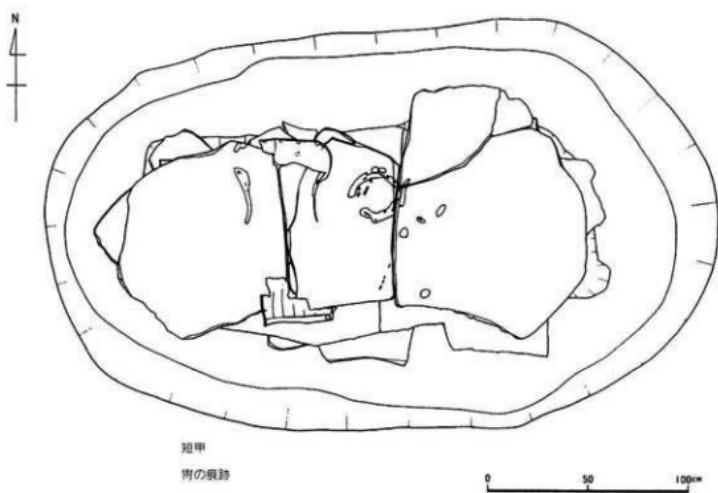


Fig.4 短甲出土状況図

展示物一覧

■国际鉄道跡

1.菊池市大字下河原

2.平成10年度

3.熊本県教育委員会

土師器(杯)	2	PL.5
土師器(瓶)	3	PL.5
土師器(瓶)	2	PL.5

■木村松子古墳

1.菊池市大字木村松子

2.平成10~11年度

3.菊池市教育委員会

類似振舞	1	PL.6,7,8	蝶形器(はそう)	1	PL.9
高环	2	PL.9	蝶瓶	1	PL.9
环舟	2	PL.9	無環蛭	1	PL.9
牙璧	2	PL.9	小型蛭	1	PL.9
蛭(はそう)	1	PL.9	横蛭	1	-

■瀬戸戸口横穴群

1.菊池郡七城町大字台字城の下

2.平成8年度

3.熊本県教育委員会

1号墓	8号墓		
真珠	7	PL.13	玻璃
瑪瑙製勾玉	1	PL.13	圓刀
滑石製臼玉	3	PL.13	真珠
碧玉	7	PL.13	水晶製勾玉
切小玉	1	PL.13	碧玉
丸玉	1	PL.13	ガラス小玉
ガラス小玉	125	PL.13	62 PL.13

■岩原古墳群

1.熊本県奥村町大字岩原

2.平成14年度

3.熊本県立美術館古墳館

須恵器(盤)	1	PL.16,18
--------	---	----------

■堀ヶ辻古墳群

1.玉名市大字寺田字堀ヶ辻

2.平成14年度

3.熊本県教育委員会

碧玉	9	PL.21
真珠	3	PL.21
ガラス丸玉	1	PL.21
ガラス小玉	13	PL.21

■足柄穴盤

1. 菊池郡越志村大字尾足字雨澤追
2. 平成2年度
3. 越志村教育委員会

尾足(甲号)	尾足(乙号)	
須恵器(縦)	3	- 磁玉斜勾玉
須恵器(平底)	3	- ガラス丸玉
鉄器	12	- ガラス小玉
環状鋸歯付器(くつわ)	1	- 小玉
耳環	2	PL.23
帶銅金具	3	PL.22
勾玉	3	-
管玉	1	-
水晶製切小玉	1	-
ガラス丸玉	3	-
玻璃製丸玉	1	-
ガラス小玉	1	-
丸玉	33	-
小玉	6	-
琥珀製平玉	1	-

■柳町遺跡 I, II

1. 五名市大字河崎字柳町
2. 平成6~11年度
3. 横本県教育委員会

柳町遺跡 I	柳町遺跡 II
土器	13 - 納代
杓子形木製品	1 - 天秤棒
直柄二段鉢	1 - 務
直柄平盤	1 - 水草形木製品
一木平盤	1 PL.28 方形器物(くりもの)
籠	1 PL.28 紡錐
木籠	6 PL.27 鎧形木製品
脚付籠	1 PL.28 機織(よこづち)
鳥形木製品	1 PL.27 井戸網
紡錐	1 PL.27
ねずみ返し	1 -
横糸・横糸柄	1 PL.28
小型土製板造品(縦形)	7 -
小型土製板造品(高環形)	1 -
小型土製板造品(鏡形)	5 -
小型土製板造品(勾玉形)	5 -

■上生ノ原遺跡

1. 菊池郡西合志町大字上生
2. 平成元~2年度
3. 横本県教育委員会

三角板新規短手	1 PL.35
鉄製焼り棒(くつわ)	1 PL.36.37

凡例

遺道跡名

1. 所在地
2. 調査年度
3. 所有者・保管者

器種名	点数	面接番号
-----	----	------

主な参考・引用文献一覧（発行年順）

- 1 松本健郎ほか「北上原（きたかんばら）古墳・瀬戸口横穴墓群」
熊本県文化財調査報告第104集 熊本県教育委員会 1989.3
 - 2 「上生・上の原」『文化財通信くまもと第2号』熊本県教育庁文化課 1991.3
 - 3 江本麗「上生上ノ原遺跡」「西合志町史資料編」西合志町史編纂協議会 1994.3
 - 4 高田鉢一「尾足横穴群（おたるのおうつけぐん）甲号横穴発掘調査報告書」
旭志村文化財調査報告書 旭志村教育委員会 1996.3
 - 5 「瀬戸口横穴墓群」「文化財通信くまもと第14号」熊本県教育庁文化課 1998.3
 - 6 「東鏡遺跡」「木棺子フタ塚古墳」「文化財通信くまもと第18号」熊本県教育庁文化課 2000.3
 - 7 高谷和生ほか「柳町遺跡2」熊本県文化財調査報告第200集 熊本県教育庁文化課 2001.3
 - 8 阿南亨「木棺子フタツカサン古墳」肥後考古学会等研究会発表資料 蒲池市教育委員会 2001.7
-

協力者一覧（五十音順、敬称略）

桜木町教育委員会	菊池市教育委員会	旭志村立旭志小学校	旭志村教育委員会	熊本県教育庁文化課
七城町教育委員会	山鹿市立博物館			
阿南亨	出田久義	小山正子	河原京子	木村雅子
洲崎胡子	谷川亜紀子	戸田紀美子	中原幹彦	児玉晶子
村田百合子	矢野裕介	山口健剛	野田拓治	坂田和弘
		山城敏昭	平川義雄	坂本恵昭
		米村 大	帆足俊文	美濃口紀子
				杉井涼子
				宮崎敬士

平成14年度企画展

熊本県立波佐古墳館展示図録第15集

肥後の至宝展Ⅰ

発行日：2003年1月15日

編集：熊本県立波佐古墳館

〒861-0561 熊本県鹿本郡鹿央町岩原3085番地

Tel.0968-36-2151 Fax.0968-36-2120

発行：熊本県文化財保護協会

〒862-0970 熊本市渡森3-15-12

Tel.096-362-9491 (熊本県文化財収蔵庫内)

印刷：印刷協業組合 サンカラー

印刷仕様

版型/A4版

頁数/28頁

組版/ファンタ（8.5ポイントゴシック基本）

印刷/オフセット印刷

製版/スクリーン線数200綾で製版

用紙/表紙（アートボスト4/6羽200kg）本文（マットコート4/6羽110kg）

製本/左巻綴じ

表紙加工及び仕様/マットニス引き

肥後の至宝展Ⅰ

熊本県立裝飾古墳館

URL <http://www.pref.kumamoto.jp/construction/section/kofunkan/>

この電子書籍は、熊本県立装飾古墳館 企画展図録 第16集を底本として作成しました。
閲覧を目的としていますので、精確な図版などが必要な場合には底本から引用してください。

底本は、熊本県内の市町村教育委員会と図書館、全国の歴史博物館、考古学を教える大学、国立国会図書館などにあります。所蔵状況や利用方法は、直接、各施設にお問い合わせください。

書名：肥後の至宝展 1

発行：熊本県立装飾古墳館

〒861-0561 熊本県山鹿市鹿央町岩原 3085 番地

電話：0968-36-2151

URL：<http://kofunkan.pref.kumamoto.jp/>

電子書籍制作日：西暦 2018 年 6 月 1 日